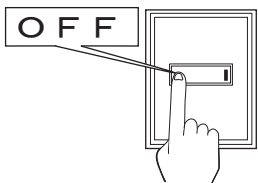


## 保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

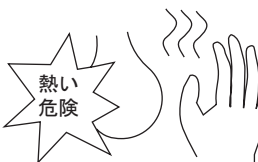
■お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切ってください。

\*感電の原因となります。



■器具の点灯時および消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。

\*やけどの原因となります。



■必ず指定の電球をご使用ください。

\*指定以外の電球を使用しますと、器具の異常過熱などにより火災の原因となります。



一般形電球

60W  
まで

■器具のお手入れ



●センサーが汚れていますと誤動作したり動作しない場合がありますので、定期的にセンサーを掃除してください。

●器具が虫やほこりなどで汚れましたら、きれいな布で軽くはたき落としてください。汚れが落ちない場合は、石けん水やぬるま湯に浸してよくしぼった柔らかい布でふき取ってください。

●化学ぞうきんを使用する場合はその注意書に従ってください。

●みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけないでください。

\*傷、変色、破損の原因となります。



## 仕様

器具	仕様	定格電圧	消費電力	適合電球
L GW 6 6 0 2 H L GW 6 6 0 3 H		交流100V	60W	日立60W形ソフトシリカ電球

\*この器具は、壁スイッチなどの、電源が入っている状態では、消灯しているときでも約0.5Wの電力を消費しています。

## アフターサービス

●もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日

 日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

# HITACHI

## 日立白熱灯器具

### 取扱説明書

人検知センサーつき  
アプローチライト

L GW 6 6 0 2 H [防雨形]  
L GW 6 6 0 3 H [防雨形]

保管用

このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本文中の「図記号」の意味は次の通りです。



「禁止」を表します。



「必ずしてほしい行為」を表します。



「接触禁止」を表します。



「必ずアース線を接続せよ」を表します。

## 安全上のご注意



警告

●このような場所には、取り付けないでください。



植え込みの間など、水まき等で直接水のかかる場所

防水性能が保てなくなり、火災・感電の原因となります。



じめ



じめ

器具の転倒や、絶縁不良による感電の原因となります。

- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼してください。  
\*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業してください。  
\*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしないでください。  
\*感電・火災・けがの原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まないでください。  
\*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけないでください。  
\*過熱し、火災の原因となります。


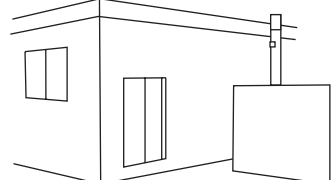
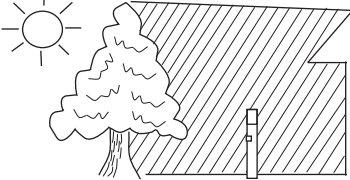
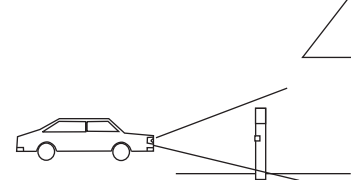

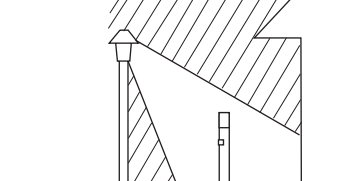
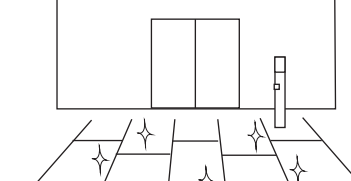


注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しないでください。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定の電球をご使用ください。  
\*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切ってください。  
\*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、電球が非常に熱くなっておりますので、触らないでください。  
\*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えないでください。  
\*器具落下の原因となります。
- 常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しないでください。  
\*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

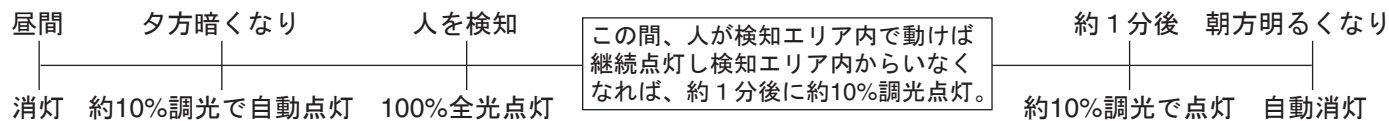
## 器具を取り付ける前に

- 次のような場所には、取り付けないでください。（誤動作したり、動作しない場合があります。）

 禁止	取り付け高さが2m以上になる場所 	昼間でも暗い場所（木かげ、ひさしの下など） 	車のヘッドライトなどの強い光が当たる場所 
	検知エリア内に風などで揺れるのれんや植物などがある場所 	夜間でも明るい場所（他の照明の光がセンサーに当たる場所） 	大理石などの反射の強い床面がある場所 

## 動作順序および検知エリア

### 動作順序



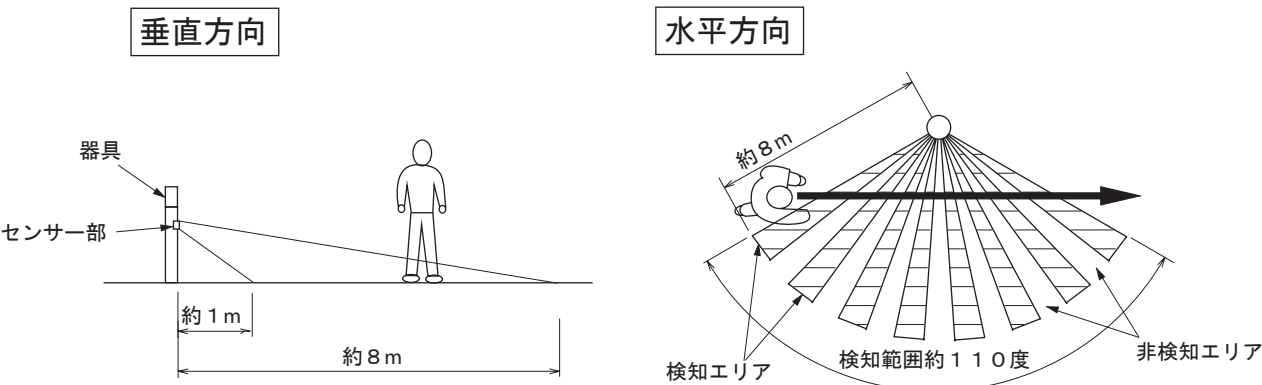
### 電源を投入したときの動作

- （1）電源ON（または、停電後復帰）すると必ず約30秒間点灯します。
- （2）その後、約150秒間は明るさにかかわらず人の動きを検知すると点灯し、数秒後に消灯します。
- （3）上記（1）、（2）の動作が終了すると、人検知センサーの動作に入ります。

### 標準取り付け高さで検知エリア

#### 器具設置位置についてのお願い

- ！ センサーの特性上、検知エリアを人が横切るとな位置に取り付けてください。



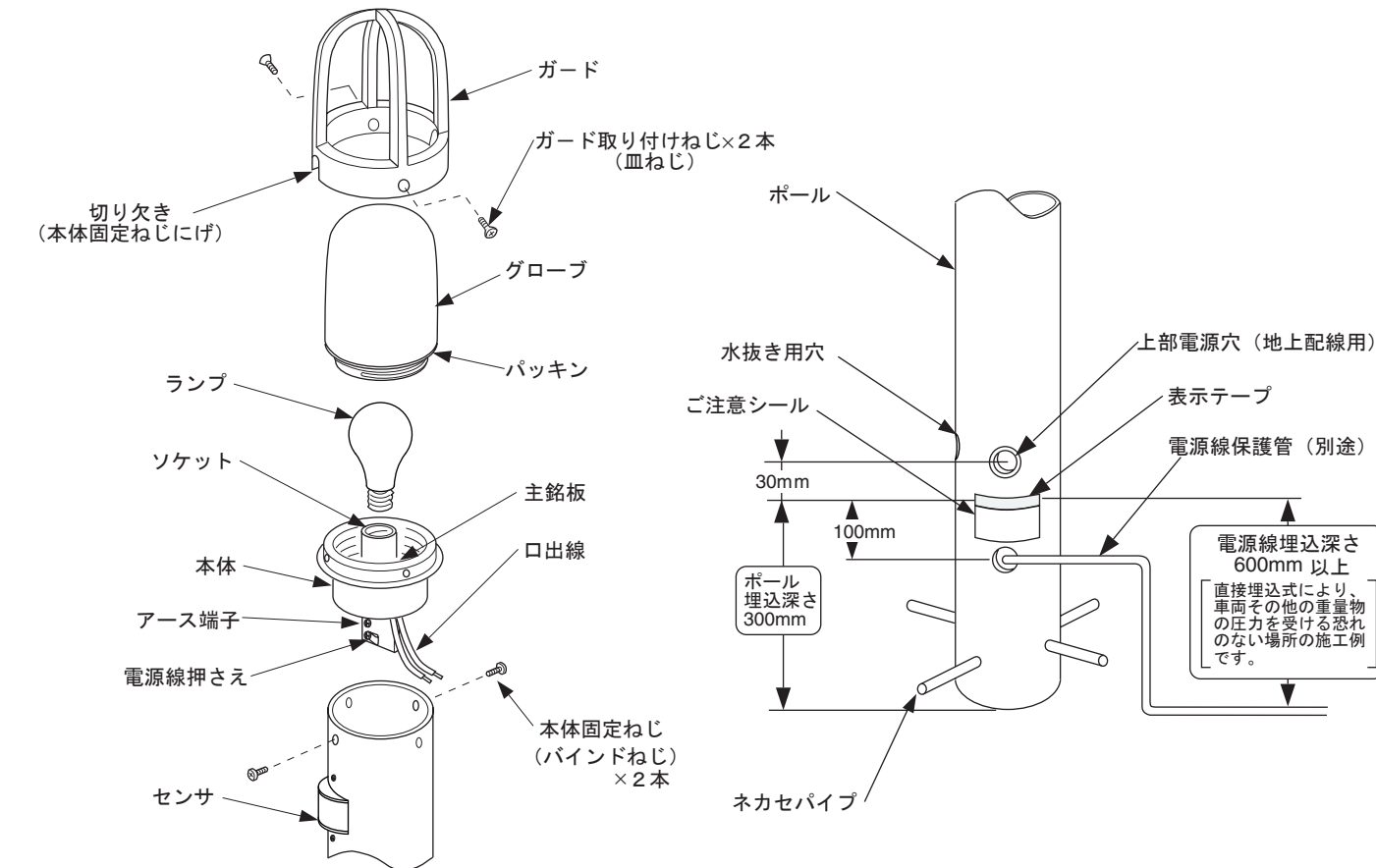
#### ご注意

- センサー正面に向かって人が近づくような位置では、器具の近くまでこないと検知しない場合があります。
- センサーは人体から放射される熱を検知しておりますので、周囲温度が高く、人と周囲の温度差が少ない場合、人が検知エリア内に入っても検知しにくい場合があります。
- 検知エリア内に、犬や猫などの小動物が入った場合や、熱源や動くものがあると、点灯することがあります。
- 検知エリア内に人がいても、静止している場合などの、動きがなく温度変化がない状態では検知しません。
- 明るさセンサーにより、周囲が暗く（約30ルクス以下）になると自動点灯し、明るく（約60ルクス以上）になると自動消灯します。

## 各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。



## 器具の取り付けかた

- **各部の名称** を参照して、器具を取り付けてください。

- （1）ポールに電源線を通し、器具の口出線と接続してください。

- ！ 口出線との接続はスリーブ等により確実にを行い防水テーピングを施してください。（内線規定125-7～9に準ずる）

- （2）電源線押さえで電源線を固定してください。

- ！ 電源線押さえ量は電源線外径の1/4程度までにしてください。  
＊押さえ込み過ぎると、絶縁被膜破壊による感電および絶縁不良の原因となります。

- （3）アース線をアース端子に接続しD種接地工事を行ってください。

- ⚡ 必ずアース線を接続してください。  
＊アース線の接続が不完全な場合、感電の原因となります。

- （4）本体をポールに差し込み、本体固定ねじ（2本）で固定してください。

- （5）ポール下部の貫通穴にネカセパイプを差し込み、表示テープがかくれるまで埋め込んでください。

ご注意：ポールは土質のしっかりとした所に設置してください。砂利等の土質の軟らかい所に設置する場合は、コンクリート等でポールの埋込部を固定してください。  
ポールは2°以内の傾き範囲で使用してください。施工に不備があると、漏水の原因となります。  
ポールまでの配線工事は電気設備技術基準、内線規定に従ってください。  
土中埋込み深さは、ご注意シールに従い水抜き穴を露出させて下さい。

- （6）グローブを左方向に回して取りはずし、ソケットにランプを取り付けてください。

- （7）グローブを本体に入れ、右方向にいっぱいまでねじ込んでください。

- （8）ガードを差し込み、固定ねじ（2本）で固定してください。

- ！ 取り付けましたら、グローブを軽くひっぱり確実に取り付けられているかお確かめください。  
＊グローブの締め付けがゆるい場合、防水性能が保てなくなり感電の原因となります。

- ！ ガラスグローブはわれものですので傷などをつけないよう、取り扱いには十分ご注意ください。  
＊けがの原因となります。